

平成22年度G空間行動プラン関連予算概算要求状況（GIS関係）

※「G空間行動プラン」に掲載された施策をもとに集計。
※十万円の位(少数点第一位)を四捨五入

農林水産省		11 施策	平成22年度概算要求額	3,627 百万円		
施策名	施策の概要	平成21年度当初予算額(百万円)	平成21年度補正予算額(百万円)	平成22年度概算要求額(百万円)		
デジタル森林空間情報利用技術開発事業	デジタル空中写真撮影や航空レーザ計測等の次世代の森林計測技術を活用し、森林植生等の詳細な分析や、山地災害発生時の影響度の推測を行うための技術開発を実施し、施策展開に向けた実用化を図る。	-	-	343		
水稲作付面積調査における衛星画像活用事業	水稲作付面積調査の科学的かつ効率的な実施を可能とするため、衛星画像データとGISデータ(水士里ネット)を活用した面積積算手法の開発を行う。	395	-	385		
特殊土壌地帯推進調査	地理情報システムを活用し、特殊土壌地帯対策の実施状況等の情報と数値地図情報との一元化を図り、実施状況等を整理したデータベースを更新する。	7	-	7		
国有林地理情報システムの運用等に要する経費	国有林における森林情報を一元的に管理するため、森林GISを運用する。	52	-	42		
生息環境情報調査	環境との調和に配慮した土地改良事業の推進と農村環境の保全形成に資するため、広域農業地域を対象に生息環境の評価区分を行い、生息環境に関する地理情報を整備する。	40	-	38		
国有林における数値地図情報の更新	国有林における森林の状況の変化等に伴う地図情報の修正を森林計画樹立時に併せて実施する。	-	-	保護林等森林資源管理強化対策(334)の内数		
水士里情報利活用促進事業	農地や水利施設等に関する情報を収集し、農業者等へ広く提供可能な地図情報やオルソ画像を整備することにより、農村の振興等を目的とした多様な取り組みの円滑な推進を支援する。	8,097	-	1,590		
国有林における空中写真撮影	国有林における森林計画樹立にあたっての基礎資料として活用するために、主として国有林が占める地域を、計画的に空中写真撮影を実施する。	森林測量(213)の内数	-	森林測量(338)の内数		
農地情報共有化支援事業	地域担い手育成総合支援協議会の構成機関である市町村、農業委員会、農業協同組合、農業共済組合、土地改良区の有する農地の所有者や耕作者、作付状況等の農地に関する情報と都道府県土連が整備する地図情報とを結合することにより、これらの関係機関共通の農地情報データベースの整備を支援する。	1,062	-	803		
衛星画像を活用した損害評価方法の確立事業	水稲共済について、衛星画像データ及びGISデータを活用した損害評価方法の確立を図る。	251	-	251		
森林GISの整備	都道府県における森林関連情報を一元的に管理する森林GISの整備を支援する。	166	-	166		

平成22年度G空間行動プラン関連予算概算要求状況（衛星測位関係）

※「G空間行動プラン」に掲載された施策をもとに集計。
※十万円の位(少数点第一位)を四捨五入

農林水産省		10 施策	平成22年度概算要求額	- 百万円		
施策名	施策の概要	平成21年度当初予算額(百万円)	平成21年度補正予算額(百万円)	平成22年度概算要求額(百万円)		
漁船位置情報管理・分析	漁船の位置等を衛星測位システムを介して自動的に取得するシステム(VMS)を構築・運用する。	49	-	遠洋漁業管理推進委託事業(218)の内数		
海亀等の回遊経路の把握	対象海洋生物の回遊経路を把握するため、海亀等の生体を捕獲後タグを装着し、行動を追跡する。	-	-	国際資源対策推進事業(339)の内数		
有害生物被害防止対策	有害生物の出現状況の把握と情報提供の実施に際し、調査船等により得た出現・予測情報を、日々の更新データ提供(PDF)と併せてGISによる提供を行い、情報利用者の利便性の高い情報として漁業関係者等に提供する。	-	-	有害生物漁業被害防止総合対策事業費(890)の内数		
水稲移植作業及び収穫作業の自動化による超省力作業システムの開発	ほ場内にオペレータが入ることなく、水稲作りの耕うんから収穫まで、すべてのほ場作業をロボット化する無人機械作業体系を開発する。	-	-	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金(39,166)の内数		
農地・農村の防災技術の高度化	高精度GPSと無人ヘリ等を用いた中山間農村地帯における災害の調査・監視技術等の開発する。農地地すべり監視のためのGPS測位技術の利用とその高精度化を進める。	-	-	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金(39,166)の内数		
広域収量モニタリングシステムの開発	コンバイン収穫質量測定装置(収量センサ、GPSユニット、表示・記録装置から構成されるもの)を利用し、ほ場地図上に収量情報をマッピングできる広域収量モニタリングシステムを開発する。	-	-	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金(39,166)の内数		
普及型GPSを用いた茶園内の位置計測技術の開発	茶園内の害虫被害箇所を検出するため、安価な普及型GPSを用いた茶園内の位置を計測する技術を開発する。	-	-	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金(39,166)の内数		
運動強度等の簡易測定に基づく放牧育成牛への補助飼料給与量の調整技術の開発	衛星測位及びGISの利用により、放牧牛の運動量と牧区地形条件の関係を解析する。	-	-	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金(39,166)の内数		
農業環境資源地点情報の整備	土壌調査、植生調査、昆虫採取及び土壌微生物等の衛星測位等による採取地点情報の整備を行い、データベース化し、時空間情報として視覚化する手法を開発する。	-	-	農業環境技術研究所運営費交付金(3,295)の内数		
衛星測位・無線通信技術を用いた農地への野生動物追跡技術の開発	鳥獣害予防のために、無線通信技術を用いた野生動物の接近警報及びGPSによる精密な位置情報の取得を行う。	-	-	農業環境技術研究所運営費交付金(3,295)の内数		
広域コントラクターのための形態端末を利用した作業計画・管理支援システム	飼料イネの収穫・調整・集荷作業や堆肥散布など各作業を円滑に進めるため、GPS搭載携帯情報端末を利用した、記録すべき項目を自由に設定できる、広域コントラクター向け作業計画・管理支援システムを開発する。	-	-	農業・食品産業技術総合研究機構運営費交付金(40,112)の内数		